

学校施設における非構造部材の耐震対策の推進に関する調査研究  
ワーキンググループにおける議論のポイント

(改訂の考え方について)

- 現行版がどのような考え方で作られたのか確認が必要
- どの程度の見直しを考えているのか  
⇒ 分かりやすく使いやすいものになるのであれば大幅な改訂でも構わない。
- 現行のものをベースに、内容の更新や項目の追加、整理を行うのがよい。  
いかに使ってもらうかを考えないといけない

(対象範囲について)

- 現在のガイドブックは「建築非構造部材」だけでなく家具等の耐震点検も一部含まれているが、どこまでを対象とするのか。
- 学校にとっては対象を広げて「安全点検」とした方が分かりやすいのではないか
- 現行版は「耐震対策」に特化して議論を行い、点検内容もそれに絞った。  
現場に意識を持ってもらうためにも対象を絞る方がよい  
⇒ 学校施設の安全点検・維持管理については、平成13年に作成したパンフレットの改訂を検討しているところ
- 天井の手引や安全点検を含めた全体像を整理し、このガイドブックの位置付けを明確にするべきではないか
- 学校で点検できるのは既に危険なものや老朽化したものだけではないか。  
設計上問題があるものは学校設置者しか対応できないのではないか
- 例えばR Sタイプの屋内運動場の横連窓は、対策を行うとすれば大規模なものになるが、そのようなものも対象にするのか
- 学校施設としてある程度一般的なものに絞るか、それとも特殊なもの（例えばS造校舎など）も対象に含めるか

(構成について)

- 学校設置者向け、学校向けと2冊に分けるべきか
- 学校設置者は全体を把握する必要があることから、このまま1冊でよいのでは
- ガイドブック・チェックリストはよくまとめられているが、現場であまり知られていない。学校向けには別途リーフレットを作るなどの工夫が必要

(内容・情報レベルについて)

- 構造体の対策を伴うようなものについて、危険性を伝えることは必要だが、具体的な対策までガイドブックの中で示すことは難しいのではないか

- 具体的な耐震対策は事例集で紹介することとし、ガイドブックには「対策が必要」と書けばよいか
- 非構造部材が安全だと言うには専門的な点検（破壊検査など）が不可欠。ガイドブックでは学校や学校設置者による目視による点検が基本なので「危険性のスクリーニング」という使われ方と考えてよいか。
- 学校設置者によって技術職員の数に差があることを考慮する必要がある
- 学校設置者によっては点検・対策を専門家に任せる場合もあるため、発注の参考となるような内容としてはどうか
- 専門家も必ずしも非構造部材の知識が十分にあるわけではない
- 構造種別によって影響を受ける部分もあるため構造に関する情報も必要
- 構造種別によって選択する非構造部材も異なるので、ある程度書き分けられるのではないか

#### （修正点について）

- このガイドブックをどのように使ってもらいたいのかによって、ふさわしいタイトルを考える必要がある
- 学校設置者や学校に求める役割をもっと明確にした方がよい。例えば、学校は点検まで行い、学校設置者はそれを踏まえた安全性の確認と対策の実施、など。
- どれくらいの頻度で点検を実施するのか、といったことを明確にした方が現場は使いやすいのではないか。

#### （その他）

- 実際にガイドブックを活用している自治体に対し、改善すべき点等をヒアリングすべきではないか

○学校施設の非構造部材等の点検・対策に係る手引等

		点検（ガイドブック、パンフレット）	対策（事例集）
<p>非構造部材の耐震点検・対策</p> <p>天井、照明器具、バスケットゴール窓・ガラス外壁、内壁</p> <p>設備機器、家具（地震による落下や転倒のおそれがあるもの）</p> <p>など</p>	天井等に	<p>学校施設における天井等落下防止対策のための手引（平成25年8月）</p> <p>※ 主に設置者・専門家向け</p> 	<p>屋内運動場等の天井等落下防止対策事例集（平成26年4月）</p> <p>※ 主に設置者・専門家向け</p> 
	非構造部材全般	<p><u>学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック（平成22年3月）</u></p> <p>※ 主に学校・設置者（・専門家）向け</p> <p>⇒ <u>平成26年度中に改訂予定</u></p> 	<p>学校施設の非構造部材の耐震対策事例集（平成24年3月）</p> <p>※ 主に設置者・専門家向け</p> <p>⇒ ガイドブック見直し後、改訂を検討</p> 
<p>日常点検・安全点検</p> <p>床、シャッター、ベランダ、屋外階段、擁壁、遊具、設備機器、</p> <p>など</p>	<p>安全で快適な学校施設を維持するために（平成13年3月）</p> <p>※ 主に学校向け</p> <p>⇒ 改訂を検討中</p> 	<p>⇒ 必要に応じて検討</p>	